

## 草の根・人間の安全保障無償資金協力

### 「ムランジェ職業訓練盲学校給食室整備計画」

#### 引渡式

2015年10月23日



中央写真：建設された給食室を見学する西岡周一郎大使(中央)とマクムラ・ジェンダー・子ども・障がい者・社会福祉省事務局長

2015年10月23日、西岡周一郎大使は、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「ムランジェ職業訓練盲学校給食室整備計画」で建設された給食室及び給食室備品の引渡しを行いました。式典にはマラウイ・ジェンダー・子ども・障がい者・社会福祉省からマクムラ事務局長が臨席しました。

1958年に設立されたムランジェ職業訓練盲学校はマラウイ国内から視覚障害者を受け入れ、訓練生に対し日常生活スキル及びリテラシースキル等の生活技術指導、並びに、ビジネスマネジメント、農業スキル等の職業訓練を提供しています。訓練後、それぞれの訓練生は彼らが暮らしていた地域社会に戻り、学校で得た知識と技術を糧に社会で生活していきます。

50年以上の歴史がある当学校では、施設の老朽化という問題を抱えています。特に給食室は1977年に建設されており、訓練生に給食を提供するには手狭となっていました。一方、給食室鍋及び冷凍庫も幾度も故障しており、古い機材のために修理も困難となっていました。この現状を改善するため、日本政府は草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、ムランジェ職業訓練盲学校に対し72,298米ドルを贈与しました。ムランジェ職業訓練盲学校は贈与資金を利用して、給食室を建設し、4基の給食鍋及び2基の冷凍庫を調達しました。この事業により学校は、訓練生に給食を適切に提供することができ、訓練生の訓練環境を向上させることができます。

式典で西岡周一郎大使は、教育は経済的自立のための強力なツールであり、障がいに関わらずすべての人々に教育を提供すべきであるとの考えを示しました。一方ムランジェ職業訓練盲学校に対し、訓練生が地域社会に戻り自立した生活ができるように、彼らへの継続した教育及び指導への尽力に期待を示しました。